

〈人文・歴史書ご担当者様〉

新刊のご案内 5月下旬刊行

※新刊委託・見計らい配本はありませんので、
事前の注文をお願いいたします

中近世武家菩提寺の研究

早島大祐（関西学院大学文学部教授）編 本体 11,000 円 ●A5 判・上製本・616 頁●

第1部 京菩提寺と都鄙交通

武家菩提寺をめぐる仏事と政治（早島大祐）

—祈願寺・京菩提寺・天下祈祷—

大名家の追善仏事と禅宗寺院（山田徹）

三河中条氏と大陽義沖（小木英梨奈）

第2部 中世後期武家菩提寺の展開

阿波守護細川家と国菩提寺（衣川仁）

近江守護佐々木六角氏と禅院・律院（大河内勇介）

京極氏菩提寺の形成と変遷（西島太郎）

第3部 近世武家菩提寺の諸相

近世前期における細川家の菩提寺（林晃弘）

大徳寺黄梅院にみる近世京菩提寺の成立と存立（谷徹也）

—毛利家との関係を中心に—

柳澤家菩提寺永慶寺の再建過程とその役割（平出真宣）

前田利長菩提所の成立過程（萩原大輔）

第4部 宗教・信仰から見た中世社会の転換

一四世紀の大応派五山僧のネットワークと尾張妙興寺（小原嘉記）

碧潭周皎の周辺と中世仏教—嵯峨・仁和寺・高山寺—（芳澤元）

東寺領山城国上久世荘における鎮守・寺庵（高木純一）

伊勢国における塩業・金融と信仰（亀山佳代）

第5部 武家菩提寺史料論

蓬左文庫蔵『勝定院殿集纂諸仏事』の基礎的考察（大田壮一郎）

地蔵院本『笠山会要誌』と寺誌編纂—附、翻刻（坪井剛）

○守護が創建した京菩提寺・国菩提寺をキーワードに、社会・経済と政治、信仰を総合した新しい室町時代像を鮮やかに描き出した編者が、これらを含む武家創建菩提寺論をさらに深めるべく組織した共同研究の成果。

○研究に一定の蓄積のある足利家や徳川家といった将軍家当主の追善ではなく、研究が比較的手薄である、幕府統治を支えた守護・大名以下の階層の先祖供養の分析から、中世・近世という時代の枠組みを超えて、死とその弔いに特化して、当時の人々が生きた諸制度を照射する試み。

早島 大祐（はやしま・だいすけ）…関西学院大学文学部教授。主要著書『室町幕府論』（講談社選書メチエ）、『足軽の誕生』（朝日選書）、『徳政令』（講談社現代新書）。

ご注文FAX 075-708-6839 小さい社行

鍬谷書店扱い 鍬谷書店を通じ、日販・トーハン・大阪屋栗田などの帳合書店にお送りします

[書店名・番線印]	冊数	冊 中近世武家菩提寺の研究 ISBN978-4-909782-02-1	
	ご担当者		定価：本体 11,000 円（税別）
	ご注文日		条件：注文（返品条件付 担当 原宏一）
発行：小さい社（2018年6月設立）京都市左京区田中北春菜町 26-21 TEL075-708-6834 info@chiisago.jp			